

2022年度の実績

催行出展者数	60 (個人・企業・団体)
催行プログラム数	75
全プログラム合計参加数	1,047 (人・組)
主な情報発信・広報	<ul style="list-style-type: none"> ●パンフレット 広報につしん9月号と一緒に市内全戸に合計約4万部配布 ●まちミル博覧会ホームページ 2022年9月1日～11月30日までに約6,100のユーザーが訪問(約8,9万PV) 特に参加予約開始日の9月1日には約1,000のユーザーが訪問(約3,3万PV) ●その他、まちミル博覧会のSNSアカウントを作成・運用

2022年度パンフレットの表紙



2022年度出展者の声

パートナーさんや
お客さんたち、
取材に来てくれた人と
つながることができ、
楽しい時間を
過ごせました。

自分
のプログラムに
こんなに注目して
もらえると思わなかつた。
広報やまちミルの
集客力の高さに驚いた。

まちミルはチャレンジの場
どんなプログラムにすれば
興味を持ってくれるのか
試してみたいと思って
参加しました。
チャレンジしてよかった。

地域活性化のために、
とてもいいと思います。

説明会で一緒に
他のパートナーの皆さんに、
プログラムの内容について親身に
具体的にアドバイスをいただき
ありがとうございました。



昨年の様子を
動画やブログで見られます。

出展をご希望の人は 出展者説明会 にご参加ください

日程	①5月29日(月) 午前10時～正午 ②5月29日(月) 午後7時～9時 ③5月30日(火) 午前10時～正午 ④5月30日(火) 午後7時～9時
会場	市役所 南庁舎2階 第5会議室
対象	市内で活動する団体・事業者・個人
内容	まちミル博覧会の説明、参加者同士の交流 出展に係る相談

定員 各回30人程度
参加費 無料(※)

※説明会は無料ですが、実際に出展する際には1プログラムごとに登録料2,000円が必要となります。また、本事業に参加する人は、につしん観光まちづくり協会の2023年度の市民サポーターとして登録されます。

●WEBで



申し込み方法

●メールで

①参加者氏名(全員分・所属団体があればその名称も記載)
②希望日・希望時間帯③確実に連絡が取れる電話番号および
メールアドレスを下記メールアドレス宛にお送りください。

sangyo@city.nisshin.lg.jp

申込締切
5/22(月)

出展者同士の交流の場「パートナーカフェ」が、6月20日(火)に開催されます。
出展される際は、ぜひご参加ください♪

日進市の観光を一緒に盛り上げていきませんか？

まちミル博覧会2023の 出展者を募集します！

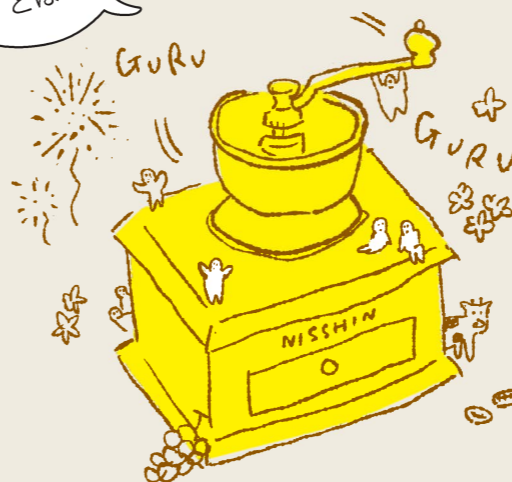


※まちミル博覧会では、「出展者」を「パートナー」と呼びます。

◎産業振興課 (につしん観光まちづくり協会) ☎0561・73・2196 📠0561・73・1871 📧sangyo@city.nisshin.lg.jp

まちミル
博覧会
とは？

出展者による手作りの体験交流型プログラムで
日進市の魅力を発信する、観光まちづくり事業です。



まちミル博覧会は「日進に行って、みて体験して、共に学び・語り合い、お互いにつながる」を体感できるプログラム「もの・こと」を集めてきています。日進をよく知る個人や団体が「パートナー」となつて、プログラムを企画・運営していただき、「日進ならではの魅力資源」に光を当てることで、付加価値を高めます。そこに参加される皆さんに、これまで気付かなかった魅力や奥深さ、おもしろさや意外性を見つけ出し、豊かさや心地よさを実感していただき、日進をさらに「住み続けたいまち」にすることを目指しています。

まちミル博覧会 検索

まちミル博覧会の「ミル」に込めた思い

「ミル」には、物の形や色を目で「見る」他「観る(まちを眺める、觀賞する)」「視る(まちの様子を認識理解する)」「看る(まちに気を配って世話をする)」「診る(まちの健康度などを診察する)」といった多様な「みる」の意味が込められていて、日進のまちの良さや人の良さを「魅せる」という意味もあります。さらに、コーヒーを淹れる前にコーヒー「ミル」を使って豆を挽いて、コーヒー豆に含まれる「旨味」のエキスを抽出するように、まちの「魅力」のエキスを市民ぐるみで抽出していこうという思いを表しています。

こんな人におすすめ。

日進市の
魅力と一緒に
作っていきたい。

いろんな人と
つながりたい。

自分の事業を、
日進市の
活性化のために
活かしたい。

新しい事業を
いろんな人に
知ってほしい。

何かを
始めたいけど
一人では不安。

おすすめポイント

- 1 事務局による丁寧なサポートがあるので、初めての人も安心してご参加ください。
- 2 市内全戸配布予定されるパンフレットや公式ホームページ・SNSなどを通じて広報のお手伝いをします。
- 3 出展者同士が集まる機会もあるので、さまざまな人との異業種交流ができます。